

はじめに

西暦2000年に開催された県民文化祭『ミレニアム天草』は産業文化祭と位置づけられ、地域文化の産業化をテーマとして開催されました。建築、食、景観、陶芸の4部門の地域文化に焦点を当て、文化の産業化に向けての議論や提言が行われました。市民センターにて開催された、国際陶芸シンポジウムにおいて『陶石の島から陶磁器の島へ』という決議が行われ、産業文化としての発展が求められることとなりました。天草は陶石の産地として世界有数の規模を誇ります。陶石を産する島から、陶磁器を生産する島へと飛翔することにより、地域文化産業の柱として創りあげようという決議でした。この決議を受け『陶芸のまちづくり』が始まります。

2001年より2003年までの3年間、文化課が担当しアーティスト交流や国内外より著名陶芸家を招聘、陶芸の多様性と新たな可能性を提案する企画が展開されました。2004年よりは商工観光課と共同開催するようになりました。陶芸の産業化を考えた時、商工と手を携えながら歩みを進めたほうが、展開がスムーズに運ぶだろうという考えからです。天草大陶磁器展がスタートしたのも、この時からとなります。以降、陶磁器コンテストの開催。地元の物産の展示即売。伝統文化を紹介する企画や、陶芸にちなんだイベントの開催など、様々なイベントを重ねました。著名陶芸家やアーティストを招聘し若い陶芸家への技術研修も盛んに行われています。

昨年よりは、陶磁器展以外の企画として、シルバーウィーク時に合同窯出しを開催しています。今年も窯元の協力のもと、2回目を無事終えることが出来ました。7月には窯元マップを作成し、来島した人達が出来たての地図を片手に窯元巡りを楽しんでいます。また、実行委員の取り組みとして、陶芸作品に天草の美味しいものを盛りつけた『天草宝の器』（アマクサタカラノキ）を限定販売いたしました。沢山のご応募があり、陶芸の持つ潜在的な力の大きさに、驚くとともに意を強くしているところです。作品数が少なかったため、皆様の要望にすべて応えることが出来ませんでした。が、今後は、より魅力的なものと次の展開に向けて話を始めているところです。

本年は多くの著名ゲストを迎え、ディスカッションと講演を予定しております。天草の人々が示唆に富んだ話を聞く機会を持ち、未来に対する指針となるような、本格的な議論にしたいと考えております。陶芸は衣食住。特に食文化や生活文化と密接な関係性を持っています。工業的ではなく、工芸…手を使い体で作る仕事。陶芸という技術は、数千年前から存在しますが、およそ800年前に職業として成立したと考えられています。手で物を作ることはどういうことなのか、日本人はどのように身体を使い、世界に誇るべき作品を作ってきたのか？全国にはどんな焼物があるのかなど、様々な角度より検証し、地域産業として、天草陶磁器が進むべき道を、皆さんと一緒に考えてみたいと思っています。

最後になりますが、今年は100を超える窯元が全国より天草へやってきます。陶芸家も天草に来るのを楽しみにしているようで、様々な陶芸家から感謝の言葉をいただきます。今年は震災が起こり、被害が甚大だった、熊本市、阿蘇、西原、菊池よりも沢山の窯元が出演いたします。九州はもとより遠くは北海道の窯元の参加もあります。天草大陶磁器展の企画は、ほとんどすべてを陶芸家の協力と、天草市の熱意により開催されます。秋の終わりの季節、天草路を楽しみながら、陶芸の世界をご堪能いただければ幸いです。

天草大陶磁器展実行委員長 金澤一弘



天草で コーヒーと 器を 楽しむ会



飯田敏博氏



佐野俊郎氏



小坂章子氏



一杯のコーヒーからどれ程の物語が生まれたのでしょうか
一粒のコーヒー豆はどれ程の記憶を蓄えているのでしょうか
果てしもない数のストーリーがコーヒーから始まり紡がれる
その物語を深く掘り下げ集うことで、更に喜びを感じ
また一杯のコーヒーに至福の時をかさねる

日本コーヒー文化学会(1994年に設立)はコーヒーを愛する人々が会し多彩な活動を行っている学会です。今回の日本コーヒー文化学会 in 天草でのコーヒーストーリー。そして、天草陶磁器にまつわるストーリー。天草の土壌で二つの文脈が出会い、絶妙に融合(ブレンド)しながら、やがて大きな樹へとなることを願います。

11/3 祝木 時間 13:30～15:30(開場 13:00)
会場 天草市民センター 大会議室

前売りチケット 1,000円 (JCS会員は500円)
アフターブレイクコーヒーチケット付
※当日券は、1,500円(JCS会員は500円)



定員 150名 (※定員になり次第締切ります ※未就学のお子様はご遠慮ください)

コーヒーを楽しむ会 主なプログラム

- 主催者挨拶 飯田敏博 (JCS九州南支部長・鹿児島国際大学副学長)
- I部「コーヒーセミナー ～ご家庭での美味しいコーヒーの淹れ方～」
講師: 佐野俊郎 (JCS会員)
- II部「九州喫茶散歩 ～いい街には、いい喫茶店があるという～」
講師: 飯田敏博 (JCS九州南支部長) ※JCS=日本コーヒー文化学会
講師: 小坂章子 (フリーライター/『九州喫茶散歩』著者)
- アフターブレイク 大陶磁器展メイン会場 “器を楽しむ喫茶コーナー”でコーヒーを楽しむ

主催: 日本コーヒー文化学会(JCS)九州南支部・天草大陶磁器展実行委員会

問合せ先: 「天草でコーヒーと器を楽しむ会事務局」
丸尾焼 熊本県天草市北原町3-10 TEL 0969-23-9522 FAX 050-3488-9252
チケットのお求め先: 【熊本市】まる味屋珈琲店(フロンツ通り 096-356-3377) / 岡田珈琲本店(上通り 096-356-2755)
【天草市】丸尾焼(北原町 0969-23-9522) / 珈琲茶話(古川町 0969-23-4747)
和蘭豆(南町 0969-22-1592) / 赤い月珈琲(本渡町 0969-24-3137) ※お電話でのお申込は丸尾焼まで

「大坊珈琲の時間」を楽しむ in 丸尾焼 Vol.2 丸尾焼 展示室



大坊勝次氏

大坊勝次氏がポットを握り抽出作業に入ると一瞬で静寂が訪れる。そこに居る全ての人が固唾を呑んで見守る。コーヒーを抽出する所作は普遍にも見えるし、融通無碍にも見える。コーヒーという一粟に人生を掛けた存在のみが、表すことの出来る至高がそこに展開されるのだ。一瞬に込められた永遠。飲む至福。今年もそんなひとときが訪れようとしている。
※各回10名の珈琲を準備しております。数に限りがございますので、お早めにお申し込みください。
お申し込み・お問い合わせは丸尾焼まで。TEL.0969-23-9522 (9:00-18:00)
※見学のみは無料です。大坊さんが淹れる珈琲を飲む場合は事前申し込みが必要です。
※チケット購入時に日時をご指定ください。

11/4 金・5 土

①10:00～ ②11:00～
③13:30～ ④14:30～
⑤15:30～ (各回10名)

前売りチケット 2,000円

バイクドチーズケーキ付
2種類の珈琲が楽しめます。



金憲鍋氏

工房珈琲 Kim・Café

11/4 金・5 土 10:00～16:00

丸尾焼 工房

1杯 500円 スイーツ付

天草大陶磁器展の縁で、瀬戸にある金憲鍋(キム・ホノ)氏の工房を訪れる天草の陶芸家が増えている。山の中にある工房を訪れた人達が共通して口にするのは、もてなしに頂いた珈琲の美味しさ。作品はもちろんだが…出された珈琲の美味しさを熱く語る人が多い。キムさんの珈琲こだわりの始まりは『大坊珈琲』だという。今年も大坊勝次氏の天草での『大坊珈琲を楽しむ』催しが決まった頃、キムさんにも連絡を取った。天草で『Kim・Café』をしませんかというお誘いだった。『いいね』とキム氏…どうせなら天草で作ったコーヒーカップで出したいね。ということで…10月1日より3日まで、天草に滞在しKim・Café用のキムCup作りを行ってもらった。何処で店を開きますか???丸尾焼の工房でどうですか??? いいですよ…と、トントン拍子に話は進み、工房珈琲『Kim・Café』のオープンが決まった。ケーキを作るのはキム氏の指名で陶芸家の木ウウコ氏。コーヒー抽出協力は懐水集の福本氏。丸尾焼展示室では大坊珈琲、工房ではKim・Café…贅沢な贅沢なひとときをお約束いたします。